

## セミナー開催のご案内

### デジタル画像セミナー

(デジタル画像専門委員会)

Exposure Index (以下 EI) は、2008 年に IEC62494 Ed. 1.0 としてデジタル X 線画像システムを対象に検出器表面の照射線量に対して比例する指標として定義されています。線量指標が EI として統一されることで、その有用性の検討がなされてきました。各メーカー間での計算方法の違いやデバイス間の違いなどはあるものの、EI は急速に広まりを見せ、適正線量の模索や施設内での撮影管理に用いられ始めました。

本セミナーでは、EI の定義からその挙動、EI の計算方法から注意すべき事、そして目標 EI (EI<sub>t</sub>) や偏差指標である Deviation Index (DI) と撮影条件との関係、さらには実際に導入（もしくは一部導入）をしている施設の現状について報告し、その可能性に迫ってみたいと思います。

EI にご興味のある方から、EI という言葉を知らなかった方も含め、ぜひご参加ください。

日 時：平成 27 年 11 月 14 日(土曜日) 17:30~18:30

場 所：北海道大学 臨床講義棟 臨床大講堂 2 階 (第一会場)

テーマ：「Exposure Index の基本から運用の仕方、および施設での運用状況例」

座 長：鈴木 信昭 (NTT 東日本札幌病院)

演 者：金田 和幸 (富士フイルムメディカル株式会社)

### 乳房画像セミナー

(乳房画像専門委員会)

乳房の診療において、超音波検査は検診から精密検査、術前評価、治療評価まで、広く不可欠な検査となっています。専門委員会として近年、乳房超音波検査の基礎やマンモグラフィとの総合判定についてセミナーを開催しましたが、今回のセミナーでは、新たな診断ツールである造影超音波検査に着目して、佐藤恵美委員から、診療における超音波検査の役割と北海道大学病院での活用法について、MMG、MRI を含めた症例画像を交えて解説いたします。

これまでのセミナー参加や、業務経験の有無に関わらず、様々な経歴の方々が参加されることにより、専門委員を含めた参加者相互の情報交流が広い範囲で深められますので、ぜひ、ご参加いただき、今後の専門委員会の活動にもご協力いただければと思います。

また、前回のセミナーに参加して、マンモグラフィの指導を継続、あるいは新たに指導する立場になった方、撮影技術を磨いている方、セミナー前後で、疑問点を、専門委員にご質問ください。

日 時：平成 27 年 11 月 15 日(日曜日) 9:30~10:30

場 所：北海道大学 臨床講義棟 第三講堂 1 階 (第二会場)

テーマ：乳腺診療における超音波検査の活用法～造影超音波を中心に～

演 者：佐藤 恵美 (北海道大学病院 放射線部/超音波センター)

## 消化管&超音波セミナー

(消化管&超音波専門委員会)

近年の消化管疾患の画像診断は、さまざまなモダリティを駆使して行われています。そこで、臨床上必要とされる“あらゆる消化管疾患の所見のとりかた”について、上部消化管についてはバリウムを中心に、下部消化管については超音波を中心に、他モダリティとの対比から理解を深めていただきたいと思えます。

上部消化管(胃・食道)については、CTやMRIが有用な場合が症例によってはありますが、バリウム検査や内視鏡検査が診断の主流であることには変わりはありません。今回はまず比較的基本的な症例をご用意し、バリウム読影の“いろは”をレクチャーし、読影の“お作法”を理解していただきます。その上で、実際の症例を内視鏡との対比を中心にみなさんで“読んで”いきましょう！

下部消化管(小腸・大腸)については、消化管エコーの診断学が確立しつつあり、現在では体外式超音波でもいろいろなことが評価できます。今回は実際の症例から、所見のとり方を解説し、“へ～こんなこともわかるんだ～”“消化管エコーって面白そう～”という感想をもってもらえるようなセミナーにしたいと思います。

普段バリウムや超音波に携わらない方にも興味を持ってもらえるようなセミナーをしたい！というのが一番のコンセプトです。撮影も“技術”ですが、読影も“技術”です。ぜひみなさんの参加をお待ちしております！

日時：平成27年11月15日(日曜日) 12:10～13:10

場所：北海道大学 臨床講義棟 第三講堂 1階(第二会場)

テーマ：「消化管疾患の読影～他モダリティとの対比を中心に～」

座長：山田 泰司(札幌厚生病院)

演者：上部消化管 荒井 雅昭(北海道対がん協会 札幌がん検診センター)

田内 慎一(溪仁会 円山クリニック)

下部消化管 中村 俊一(JA北海道厚生連 帯広厚生病院)

島崎 洋(JA北海道厚生連 札幌厚生病院)

## アンギオセミナー

(アンギオ専門委員会)

近年、64列以上のCT普及率は凄まじく冠動脈CTは広く多くの施設で行われています。

しかし冠動脈CTに携っている方でその後の冠動脈血管造影および血管内治療をどのように行っているかを詳しく知っている方は少ないのではとも思います。

そこで本セミナーでは、冠動脈の解剖から、虚血性心疾患（冠動脈疾患）の血管造影室での検査方法、治療内容を血管造影に携っていない方に広く知って頂くためにお話したいと思います。

お気軽に多数の参加をお待ちしております。

尚、今後は頭部、腹部など各部位の血管造影・治療についてシリーズ化して行っていくしますのでご期待下さい。

日 時：平成 27 年 11 月 14 日(土曜日) 17:30~18:30

場 所：北海道大学 臨床講義棟 第四講堂 1階 (第三会場)

テーマ：「虚血性心疾患の血管造影検査と血管内治療」

座 長：伴 伸次 (JCHO 札幌北辰病院)

演 者：虚血性心疾患の血管造影室での検査 工藤 環 (札幌心臓血管クリニック)  
治療 宮本 直武 (士別市立病院)

## CTセミナー

(CT 専門委員会)

下肢動脈CT-Angiography (CT-A) 検査を経験することはあるでしょうか？

近年、閉塞性動脈硬化症など血管疾患が増加傾向にあり、今後ますます撮影依頼が増えることが予想されます。

下肢動脈は、撮影範囲が非常に広い上に血流速度もさまざまで、撮影条件や造影条件・撮影タイミングの設定には、他部位とは違う難しさがあります。

また下肢動脈CT-Aの撮影条件等に関しては、多くの報告はあるものの、未だ一定の見解を得られていないのが現状です。

本セミナーでは、日頃の皆様の悩みを解消するべく、下肢動脈の疾患の特徴・その関連する検査、さらに下肢動脈CT検査の撮影方法について紐解きます。是非、ふるってご参加ください。

日 時：平成 27 年 11 月 15 日(日曜日) 13:00~14:00

場 所：北海道大学 臨床講義棟 臨床大講堂 2階 (第一会場)

テーマ：「下肢動脈CT-Angiographyを紐トーク」

座 長：小倉 圭史 (札幌医科大学附属病院)

山口 仰 (北海道大学病院)

演 者：下肢血管の疾患、検査の種類 佐々木康二 (札幌心臓血管クリニック)  
下肢血管CTの造影方法・撮影方法 板谷 春佑 (手稲溪仁会病院)

## MR セミナー

(MR 専門委員会)

日本で初めて MRI が臨床に使用されてから約 30 年経過し、我が国の人口当たりの設置台数は世界一となっております。技術革新により装置は部位を選ばず、様々な検査が可能となりましたが、施設によっては検査内容が特化している場合があると思います。頻度の少ない検査の場合、「撮像方向・範囲は？」、「slice 厚は？」、「造影は Dynamic も必要？」など検査手技に不安を抱く事はないでしょうか？

今回の MR セミナーでは、MRI が有用でありながら、勉強会や研究会で取り上げられることの少ない部位の検査方法について解説致します。初心者の方にわかり易く、ベテランの方には復習となる内容にしたいと考えております。多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 27 年 11 月 15 日(日曜日) 12:10~13:10

場 所：北海道大学 臨床講義棟 臨床大講堂 2 階(第一会場)

テーマ：「明日●●の検査が入ってる・・・どう検査する？」

座 長：長濱 宏史(札幌医科大学附属病院)

小見山聡史(倶知安厚生病院)

演 者：①下垂体 石坂 欣也(北海道大学病院)

②前立腺 佃 幸一郎(NTT 東日本札幌病院)

## 医療情報セミナー

(医療情報専門委員会)

撮影装置を新しく買って接続したときや他院から CD-R が届いて PACS に取り込もうとしたとき、普段は問題ないのに、なぜか接続や表示がうまくいかないことがあります。そんな日常で発生するトラブルも、DICOM のことをもう少し知っていたら解決できてしまうかもしれません。今回の医療情報セミナーではトラブル事例に基づいて、DICOM 規格の観点から原因と対応方法を説明して DICOM との上手い付き合い方をご紹介します。

本セミナーは医療情報の初心者の方を対象としており、DICOM の基礎から、わかりやすく説明します。また、聴衆参加型のセミナーとして、スマートフォンアプリを用いたクイズやアンケートを行うことを予定しています。委員一同、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 27 年 11 月 14 日(土曜日) 13:00~14:00

場 所：北海道大学 臨床講義棟 第四講堂 1 階(第三会場)

テーマ：「日常業務での DICOM にまつわるトラブルと対応方法」

司 会：谷川 琢海(旭川医科大学)

演 者：福田 晋久(国立病院機構北海道医療センター)

## 計測防護セミナー

(計測防護専門委員会)

本セミナーは、計測防護にまつわる日常で感じるちょっとした疑問を取り上げ、計測防護委員が自身の分析と視点で、一つの回答例を提示します。答えがない課題もあるとは思いますが、会場の皆様とのディスカッションの中で、一つの方向性を見いだしていければ良いと考えております。今回は、以下の課題から、数題を取り上げる予定です。

- ・漏洩線量の実態と対策
- ・ポータ撮影時の散乱線について
- ・生殖腺防護の実情
- ・管球が故障する予兆を捕らえる
- ・従事者の不均等被ばくについて
- ・従事者用放射線防護用具の使用実態 など

日 時：平成 27 年 11 月 15 日(日曜日) 9：30～10：00

場 所：北海道大学 臨床講義棟 臨床大講堂 2 階 (第一会場)

テーマ：「日常業務における計測防護」

座 長：森 泰成 (JCHO 北海道病院)

演 者：田中 伸博 (中村記念病院)

柴田 隼 (えにわ病院)